



夏からはテーマ別の活動を進めています！

●植物図鑑づくり



大学の魅力発信や自然に興味・関心をもってもらうきっかけをつくりたい。そんな思いから、大学の森の植物図鑑をつくることにしました。

まずは、図鑑の構成から話し合い。大学の森には200種類以上の植物があるので、何から紹介しようか考えています。

●伐採木の利活用



昨年秋と今年春に大学の森の枯損木を伐採しました。現在、この木の活用方法を検討しています。

この日は、大学担当職員と一緒に、木の状態と量を確認。今後、活用方法とスケジュールの作成、用途に応じた種類分け等の作業を予定しています。

●小川的环境調査



大学の森の中を流れる小川は、キャンパス内の雨水が集まったものですが、水量が少なく水質も良くないようです。

まずは、現状の環境を確認するため水質や水生生物の調査を始めました。水質は、PH、水温、濁度、CODなどの項目を、上流・中流・下流の3か所で継続的に調査していく予定です。

●動物の生息状況調査



大学の森内にセンサー付きカメラを設置して、動物の調査をしています。

学外の専門家の方からご指導をいただき、カメラを2台設置。画像データのチェックは大変ですが、目をチカチカさせながら頑張っています。

このほか、この秋はバットディテクターを使ったコウモリ調査にもトライしました。

